



2024年6月4日

各 位

| | |
|-----------|--------------------------------------|
| 会 社 名 | 大 豊 工 業 株 式 会 社 |
| 代 表 者 名 | 代 表 取 締 役 社 長 新 美 俊 生 |
| コ ー ド 番 号 | 6470 (ス タ ン ダ ー ド 市 場 ・ プ レ ミ ア 市 場) |
| 問 合 せ 先 | 執 行 役 員 延 川 洋 二 |
| 電 話 番 号 | (0565)28-2225 (代 表) |

「第118回定時株主総会招集ご通知」の一部修正について

拝啓 株主の皆様には平素よりご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

2024年6月4日発送の「第118回定時株主総会招集ご通知」につきまして、一部修正すべき事項がございましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり修正させていただきます。

なお、当社ウェブサイトに記載しております「第118回定時株主総会招集ご通知」は、修正後のものでございます。

記

【修正の内容および修正箇所】

修正内容は次のページのとおりであります。なお、修正箇所は、朱字下線にて表示しております。

以上

<訂正前>
「第118回定時株主総会招集ご通知」18ページ
(5)財産および損益の状況の推移

(3) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資の総額は64億円となりました。

(4) 資金調達の状況

当連結会計年度における重要な資金調達はありません。

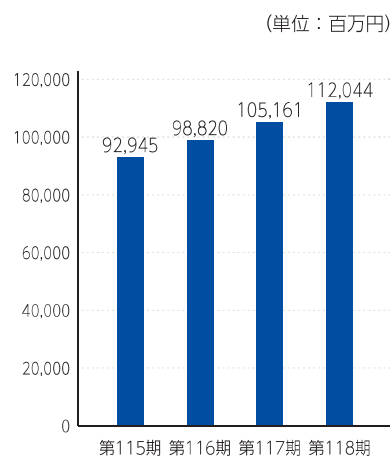
(5) 財産および損益の状況の推移

①企業集団の財産および損益の状況の推移

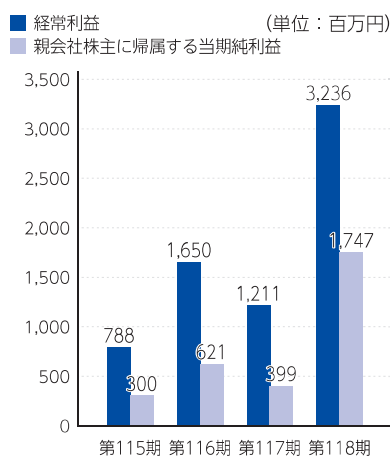
| 区 分 | 第115期 (2021年3月期) | 第116期 (2022年3月期) | 第117期 (2023年3月期) | 第118期(当連結会計年度) (2024年3月期) |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------------|
| 売上高 | 92,945 百万円 | 98,820 百万円 | 105,161 百万円 | 112,044 百万円 |
| 経常利益 | 788 百万円 | 1,650 百万円 | 1,211 百万円 | 3,236 百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 300 百万円 | 621 百万円 | 399 百万円 | 1,747 百万円 |
| 1株当たり当期純利益 | 10円37銭 | 21円42銭 | 13円86銭 | 60円56銭 |
| 総資産 | 113,726 百万円 | 114,379 百万円 | 113,774 百万円 | 119,254 百万円 |
| 純資産 | 64,336 百万円 | 66,305 百万円 | 67,085 百万円 | 71,695 百万円 |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(自己株式を控除した株数)により算出しております。

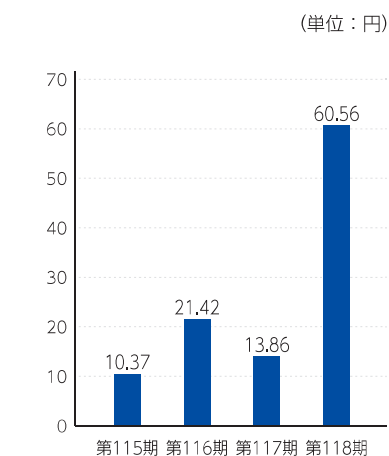
売上高



経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



<訂正後>

「第118回定時株主総会招集ご通知」18ページ
(5)財産および損益の状況の推移

(3) 設備投資の状況

当連結会計年度に実施いたしました設備投資の総額は64億円となりました。

(4) 資金調達の状況

当連結会計年度における重要な資金調達はありません。

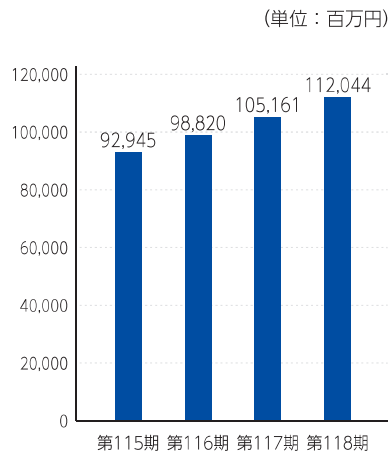
(5) 財産および損益の状況の推移

①企業集団の財産および損益の状況の推移

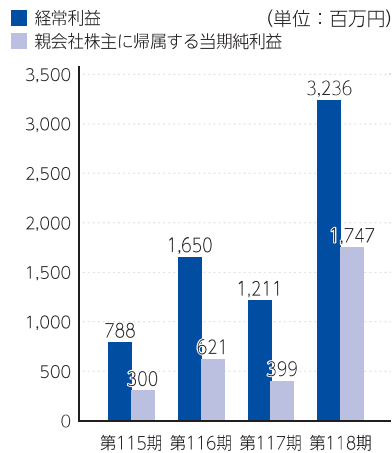
| 区 分 | 第115期 (2021年3月期) | 第116期 (2022年3月期) | 第117期 (2023年3月期) | 第118期(当連結会計年度) (2024年3月期) |
|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|------------------------------|
| 売上高 | 92,945 百万円 | 98,820 百万円 | 105,161 百万円 | 112,044 百万円 |
| 経常利益 | 788 百万円 | 1,650 百万円 | 1,211 百万円 | 3,236 百万円 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 300 百万円 | 621 百万円 | 399 百万円 | 1,747 百万円 |
| 1株当たり当期純利益 | 10円37銭 | 21円42銭 | 13円86銭 | 60円56銭 |
| 総資産 | 113,726 百万円 | 114,379 百万円 | 113,774 百万円 | <u>119,457</u> 百万円 |
| 純資産 | 64,336 百万円 | 66,305 百万円 | 67,085 百万円 | <u>72,587</u> 百万円 |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(自己株式を控除した株数)により算出しております。

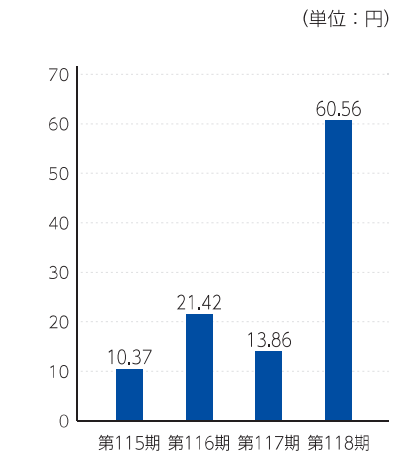
売上高



経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



連結計算書類

連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|----------------|
| (資産の部) | |
| 流動資産 | 62,536 |
| 現金及び預金 | 21,105 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,442 |
| 電子記録債権 | 3,502 |
| 契約資産 | 1,119 |
| 商品及び製品 | 5,687 |
| 仕掛品 | 2,909 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,449 |
| その他 | 2,431 |
| 貸倒引当金 | △110 |
| 固定資産 | 56,718 |
| 有形固定資産 | 44,743 |
| 建物及び構築物 | 10,128 |
| 機械装置及び運搬具 | 16,772 |
| 土地 | 13,087 |
| リース資産 | 140 |
| 建設仮勘定 | 3,192 |
| その他 | 1,421 |
| 無形固定資産 | 1,572 |
| リース資産 | 0 |
| その他 | 1,571 |
| 投資その他の資産 | 10,402 |
| 投資有価証券 | 6,451 |
| 繰延税金資産 | 2,752 |
| 退職給付に係る資産 | 740 |
| その他 | 550 |
| 貸倒引当金 | △93 |
| 合計 | 119,254 |

(記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

<訂正前>

「第118回定時株主総会招集ご通知」36ページ
連結計算書類－連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|----------------|
| (負債の部) | |
| 流動負債 | 27,642 |
| 支払手形及び買掛金 | 7,512 |
| 電子記録債務 | 5,202 |
| 短期借入金 | 323 |
| 1年以内返済予定の長期借入金 | 4,887 |
| リース債務 | 30 |
| 未払費用 | 6,432 |
| 未払法人税等 | 640 |
| 役員賞与引当金 | 131 |
| 製品保証引当金 | 403 |
| その他 | 2,077 |
| 固定負債 | 19,917 |
| 長期借入金 | 17,374 |
| リース債務 | 63 |
| 繰延税金負債 | 1,000 |
| 退職給付に係る負債 | 1,170 |
| 役員退職慰労引当金 | 179 |
| 資産除去債務 | 43 |
| その他 | 86 |
| 負債合計 | 47,559 |
| (純資産の部) | |
| 株主資本 | 63,529 |
| 資本金 | 6,712 |
| 資本剰余金 | 10,165 |
| 利益剰余金 | 46,929 |
| 自己株式 | △278 |
| その他の包括利益累計額 | 7,495 |
| その他有価証券評価差額金 | 3,512 |
| 為替換算調整勘定 | 4,153 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △170 |
| 新株予約権 | 93 |
| 非支配株主持分 | 577 |
| 純資産合計 | 71,695 |
| 合計 | 119,254 |

連結計算書類

連結貸借対照表 (2024年3月31日現在)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|----------------|
| (資産の部) | |
| 流動資産 | 62,536 |
| 現金及び預金 | 21,105 |
| 受取手形及び売掛金 | 18,442 |
| 電子記録債権 | 3,502 |
| 契約資産 | 1,119 |
| 商品及び製品 | 5,687 |
| 仕掛品 | 2,909 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,449 |
| その他 | 2,431 |
| 貸倒引当金 | △110 |
| 固定資産 | 56,920 |
| 有形固定資産 | 44,743 |
| 建物及び構築物 | 10,128 |
| 機械装置及び運搬具 | 16,772 |
| 土地 | 13,087 |
| リース資産 | 140 |
| 建設仮勘定 | 3,192 |
| その他 | 1,421 |
| 無形固定資産 | 1,572 |
| リース資産 | 0 |
| その他 | 1,571 |
| 投資その他の資産 | 10,604 |
| 投資有価証券 | 6,451 |
| 繰延税金資産 | 2,369 |
| 退職給付に係る資産 | 1,326 |
| その他 | 550 |
| 貸倒引当金 | △93 |
| 合計 | 119,457 |

(記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

<訂正後>
「第118回定時株主総会招集ご通知」36ページ
連結計算書類－連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|----------------|
| (負債の部) | |
| 流動負債 | 27,642 |
| 支払手形及び買掛金 | 7,512 |
| 電子記録債務 | 5,202 |
| 短期借入金 | 323 |
| 1年以内返済予定の長期借入金 | 4,887 |
| リース債務 | 30 |
| 未払費用 | 6,432 |
| 未払法人税等 | 640 |
| 役員賞与引当金 | 131 |
| 製品保証引当金 | 403 |
| その他 | 2,077 |
| 固定負債 | 19,228 |
| 長期借入金 | 17,374 |
| リース債務 | 63 |
| 繰延税金負債 | 1,000 |
| 退職給付に係る負債 | 480 |
| 役員退職慰労引当金 | 179 |
| 資産除去債務 | 43 |
| その他 | 86 |
| 負債合計 | 46,870 |
| (純資産の部) | |
| 株主資本 | 63,529 |
| 資本金 | 6,712 |
| 資本剰余金 | 10,165 |
| 利益剰余金 | 46,929 |
| 自己株式 | △278 |
| その他の包括利益累計額 | 8,386 |
| その他有価証券評価差額金 | 3,512 |
| 為替換算調整勘定 | 4,153 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 721 |
| 新株予約権 | 93 |
| 非支配株主持分 | 577 |
| 純資産合計 | 72,587 |
| 合計 | 119,457 |

<訂正前>

「第118回定時株主総会招集ご通知」38ページ
連結計算書類－連結株主資本等変動計算書

連結株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------|-------|--------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,712 | 10,174 | 45,766 | △351 | 62,301 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △576 | | △576 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,747 | | 1,747 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | | — |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | △8 | | 72 | 64 |
| 海外連結子会社における従業員 奨励福利基金への積立金 | | | △7 | | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額） | | | | | — |
| 当期変動額合計 | | △8 | 1,163 | 72 | 1,227 |
| 当期末残高 | 6,712 | 10,165 | 46,929 | △278 | 63,529 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株 主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|-------|-------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係 る調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 1,583 | 2,628 | △68 | 4,143 | 134 | 505 | 67,085 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △576 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 1,747 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | | | | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 64 |
| 海外連結子会社における従業員 奨励福利基金への積立金 | | | | | | | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額） | 1,928 | 1,525 | △102 | 3,351 | △40 | 71 | 3,382 |
| 当期変動額合計 | 1,928 | 1,525 | △102 | 3,351 | △40 | 71 | 4,609 |
| 当期末残高 | 3,512 | 4,153 | △170 | 7,495 | 93 | 577 | 71,695 |

(記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

<訂正後>

「第118回定時株主総会招集ご通知」38ページ
連結計算書類－連結株主資本等変動計算書

連結株主資本等変動計算書 (2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位：百万円)

| | 株主資本 | | | | |
|-------------------------------|-------|--------|--------|------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 6,712 | 10,174 | 45,766 | △351 | 62,301 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △576 | | △576 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 1,747 | | 1,747 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | | — |
| 自己株式の取得 | | | | △0 | △0 |
| 自己株式の処分 | | △8 | | 72 | 64 |
| 海外連結子会社における従業員 奨励福利基金への積立金 | | | △7 | | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額） | | | | | — |
| 当期変動額合計 | | △8 | 1,163 | 72 | 1,227 |
| 当期末残高 | 6,712 | 10,165 | 46,929 | △278 | 63,529 |

| | その他の包括利益累計額 | | | | 新株予約権 | 非支配株 主持分 | 純資産合計 |
|-------------------------------|------------------|--------------|------------------|-------------------|-------|-------------|--------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算 調整勘定 | 退職給付に係 る調整累計額 | その他の包括利 益累計額合計 | | | |
| 当期首残高 | 1,583 | 2,628 | △68 | 4,143 | 134 | 505 | 67,085 |
| 当期変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | | | △576 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | | | 1,747 |
| 新株の発行（新株予約権の行使） | | | | | | | — |
| 自己株式の取得 | | | | | | | △0 |
| 自己株式の処分 | | | | | | | 64 |
| 海外連結子会社における従業員 奨励福利基金への積立金 | | | | | | | △7 |
| 株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額（純額） | 1,928 | 1,525 | 789 | 4,243 | △40 | 71 | 4,274 |
| 当期変動額合計 | 1,928 | 1,525 | 789 | 4,243 | △40 | 71 | 5,501 |
| 当期末残高 | 3,512 | 4,153 | 721 | 8,386 | 93 | 577 | 72,587 |

(記載金額は、百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。)

<訂正前>

「第118回定時株主総会招集ご通知」42ページ
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2024年5月20日

大豊工業株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士 古田 賢 司 ㊞
業務執行社員
指定有限責任社員 公認会計士 本 田 一 暁 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、大豊工業株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大豊工業株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

<訂正後>

「第118回定時株主総会招集ご通知」42ページ
連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2024年5月29日

大豊工業株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士 古田 賢 司 ㊞
業務執行社員
指定有限責任社員 公認会計士 本 田 一 暁 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、大豊工業株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、大豊工業株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の連結計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

連結計算書類の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と連結計算書類又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

<訂正前>

「第118回定時株主総会招集ご通知」44ページ
会計監査人の監査報告書 謄本

会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2024年5月20日

大豊工業株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士 古田 賢 司 ㊞
業務執行社員
指定有限責任社員 公認会計士 本 田 一 暁 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、大豊工業株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第118期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

<訂正後>

「第118回定時株主総会招集ご通知」44ページ
会計監査人の監査報告書 謄本

会計監査人の監査報告書 謄本

独立監査人の監査報告書

2024年5月29日

大豊工業株式会社
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人
名古屋事務所
指定有限責任社員 公認会計士 古田 賢司 ㊞
業務執行社員
指定有限責任社員 公認会計士 本田 一 暁 ㊞
業務執行社員

監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、大豊工業株式会社の2023年4月1日から2024年3月31日までの第118期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告及びその附属明細書である。経営者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監査役及び監査役会の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

当監査法人の計算書類等に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、当監査法人はその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類等の監査における当監査法人の責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類等又は当監査法人が監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうかを検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

当監査法人は、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、当監査法人が報告すべき事項はない。

計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

<訂正前>

「第118回定時株主総会招集ご通知」47ページ
監査役会の監査報告書 謄本

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年5月22日

大豊工業株式会社 監査役会

常勤監査役 船越 七洋 ㊟

常勤監査役 池田 清志 ㊟

社外監査役 橋爪 秀史 ㊟

社外監査役 加藤 貴己 ㊟

社外監査役 榎本 幸子 ㊟

以上

<訂正後>

「第118回定時株主総会招集ご通知」47ページ
監査役会の監査報告書 謄本

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

(3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人太陽有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2024年5月29日

大豊工業株式会社 監査役会

| | | | |
|-------|----|----|---|
| 常勤監査役 | 船越 | 七洋 | ㊟ |
| 常勤監査役 | 池田 | 清志 | ㊟ |
| 社外監査役 | 橋爪 | 秀史 | ㊟ |
| 社外監査役 | 加藤 | 貴己 | ㊟ |
| 社外監査役 | 榎本 | 幸子 | ㊟ |

以上